

J O C S 祈りの花束

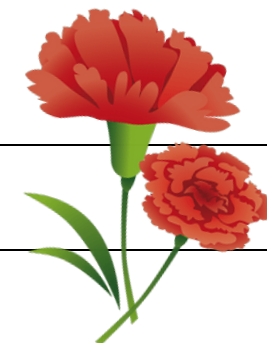
2024年5月

今月のことば:あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になりなさい。(マタイ 20:26)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 能登半島地震の被災者のため。 台湾東部沖地震の被災者のため	2 岩本直美ワーカーのため(バングラデシュ)	3 憲法の理念が守られ、どこにおいても平和と正義が実現されるように(本日、憲法記念日)	4 自然が破壊から守られ、その豊かさをすべての人々が享受できるように(本日、みどりの日)
5 どこにおいても、こどもが大切にされ、その心身の健康が守られるように(本日、こどもの日)	6 シロアムプロジェクト(協働プロジェクト)のため(ケニア)。派遣専門家の働きのため	7 戦争・紛争の中で保健医療活動に従事する人々のため	8 来月(6月8日)の定時社員総会の準備のため	9 使用済み切手収集活動のため	10 どこの国においても、看護師とその働きが守られ、祝福されるように(明日、国際看護師デー*1)	11 アジア・キリスト教協議会(CCA)のため(明日、アジア祈祷日。来週週はアジア・エキュメニカル週間*2)
12 貧困や抑圧の中におかれている母親たちのため。その健康が守られるように(明日、母の日)	13 ミラノ外国宣教会(PIME)とそのJOYJOYプロジェクトのため(バングラデシュ・岩本ワーカー派遣先)	14 新しいワーカーが与えられるように	15 困難な状況におかれている家族に適切なケアがなされ、家庭に平和と健康がもたらされるように(本日、国際家族デー*3)	16 事務局スタッフのため	17 JOCSを支援している教会のため	18 NPO 団体「Where There Is No Doctor」(タイ北部)のため(ミャンマー避難民緊急支援先)
19 聖霊の働きに心を開き、新たに歩みだすことができるように(本日、聖霊降臨日)	20 地区 JOCS の働きのため	21 11月開催の海外保健医療協力者会議のため。(本日、準備委員会開催)	22 生物の多様性が維持され、それによって人々の健康が育まれるように(本日、国際生物多様性の日*4)	23 関西事務局の働きのため	24 会長、理事、事務局長のため	25 JOCSの奨学生のため(特にネパールの奨学生のため。現在14名)
26 JOCSの支援者のため(特に沖縄県の会員のため。現在17名)	27 政治的権力によって人権が侵害されている人々のため。その人々の健康のため(本日、国際アムネスティデー*5)	28 ママ・ナ・ムトプロジェクト(協働プロジェクト)のため(タンザニア)	29 ワーカーの安全のため	30 JOCSに協力するボランティアの方々のため	31 喫煙による健康被害の問題に取り組む団体のため(本日、世界禁煙デー*6)	

* 1: International Nurse Day * 2: アジア・キリスト教協議会(CCA)にはアジアの 21 の国々の諸教会が属し、神学研究や健康保健の分野における協働プログラムを実施している。* 3: International Day of Families * 4: International Day for Biological Diversity
* 5: Amnesty International Day * 6: World No-Tobacco Day

祈りの項目 岩本直美ワーカーより 間の深さにも関わらず、私たちが常に喜びを選び取っていくことができますように。
ノバラ職業訓練校(スイハリ小教区内)のメーデーの際のために。



みことばの黙想

2024年 5月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

より深くみことばを味わいたい方は、典拠箇所を参照して文脈のなかでみことばを黙想なさってください。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（水） ルカ 4:14-21
イエスはイザヤの預言にこう書いてある箇所を目を留められた。「主の霊がわたしの上におられる。主がわたしを遣わされたのは、貧しい人に福音を告げ、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にするためである。」

2日（木） 黙示録 1:9-18
ヨハネは記す。「人の子のような方が手をわたしの上に置いて言われた。『恐れるな。わたしは最初の者にして最後の者、また生きている者。一度は死んだが、見よ、世々限りなく生きている。』」

3日（金） 1ペトロ 3:13-17
ペトロは記す。「義のために苦しみを受けるのであれば、幸いです。恐れることはありません。心の中でキリストを主とあがめなさい。」

4日（土） フィリピ 2:1-11
キリスト・イエスは、僕（しもべ）の身分になり、人間と同じ者になられました。へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。

5日（日） ヨハネ 15:9-17
イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」

6日（月） ガラテヤ 6:1-10
互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。

7日（火） ヨハネ 4:1-14
イエスはサマリアの女に言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、『水を飲ませてください』と言ったのがだれであるかを知っていたならば、あなたの方からその人に頼み、その人はあなたに生きた水を与えたことであろう。」

8日（水） ヨハネ 7:1-24
イエスは言われた。「わたしの教えは、自分の教えではなく、わたしをお遣わしになった方の教えである。この方の御心を行おうとする者は、わたしの教えが神から出たものか、わたしが勝手に話しているのか分かる。」

9日（木） マタイ 28:16-20
†昇天日
復活なさったイエスは弟子たちに姿を現し、こう言われた。「行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

10日（金） 創世記 50:15-21
ヨセフは兄たちを赦してこう言った。「恐れることはありません。あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変えてくださいました。それによって、多くの人々の命の救いもたらされたのです。」

11日（土） 使徒言行録 5:27-42
使徒たちは、イエスの名のために辱めを受けるほどの者にされたことを喜び、神殿の境内や家々で絶えず教え、メシア・イエスについて福音を告げ知らせていた。

12日（日） ヨハネ 17:6-11
イエスは祈って言われた。「父よ、わたしは、もはや世にはいません。彼らは世に残りますが、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに与えてくださった御名によって彼らを守ってください。わたしたちのように、彼らも一つとなるためです。」

13日（月） フィリピ 1:3-11
パウロは記す。「あなたがたの中で善い業（わざ）を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。」

14日（火） 詩編 119:25-32
主よ、あなたによって心は広くされ、わたしは戒めに従う道を走ります。

15日（水） エフェソ 5:1-4,8-11
パウロは記す。「あなたがたは神に愛されている子どもですから、神に倣（なら）う者となりなさい。私たちを愛し、ご自分を私たちのために捧げてくださったキリストに従いなさい。」

16日（木） マタイ 5:1-12
イエスは言われた。「心の清い人々は、幸い。その人たちは神を見る。」

17日（金） ルカ 23:33-34
十字架上で、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのかわからないのです。」

18日（土） 1ヨハネ 3:14-20
言葉や口先だけでなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

19日（日） ヨハネ 16:12-15
†聖霊降臨日
イエスは言われた。「真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り告げるからである。」

20日（月） ガラテヤ 5:16-18,22-23
パウロは記す。「霊の導きに従って歩みなさい。霊の結ぶ実（み）は愛であり、喜び、平和、柔和、誠実、節制です。」

21日（火） 使徒言行録 15:5-12
ペトロは言った。「神はわたしをお選びになりました。それは、すべての人々が、わたしの口から福音の言葉を聞いて信じるようになるためです。人の心をお見通しになる神は、彼らにも聖霊を与えて、彼らをも受け入れられたことをお示しになったのです。」

22日（水） 2テモテ 1:12-14
パウロはテモテにこう書き送った。「あなたにゆだねられている良いものを、わたしたちの内に住まわれる聖霊によって守りなさい。」

23日（木） イザヤ 11:1-10
イザヤは言った。「神の霊がメシアの上にとどまる。彼は、目に見えるところによって裁きを行わず、弱い人のために正当な裁きを行い、この地の貧しい人を公平に弁護する。」

24日（金） エフェソ 2:14-18
キリストはおいでになり、遠く離れている人々にも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。それで、このキリストによってわたしたちは一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。

25日（土） ヨハネ 14:21-26
イエスは言われた。「父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる。」

26日（日） ローマ 8:14-17
パウロは記す。「あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥（おとし）れる霊ではなく、神の子とする霊を受けたのです。この霊によってわたしたちは、『アッパ、父よ』と呼ぶのです。」

27日（月） 1ヨハネ 2:24-28
ヨハネは最初のキリスト者たちにこう書き送った。「初めから聞いていたことを、心にとどめなさい。初めから聞いていたことが、あなたがたの内にいつもあるならば、あなたがたも御子の内に、また御父の内にいつもいるでしょう。」

28日（火） ヨハネ 12:47-50
イエスは言われた。「わたしは、世を裁くためではなく、世を救うために来た。」

29日（水） 2コリント 9:6-11
パウロは記す。「惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。」

30日（木） ローマ 12:3-8
パウロは記す。「わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っていても、すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数が多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。」

31日（金） ルカ 1:26-38
天使はマリアに言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みを受けた。あなたは身ごもって男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。」